



# APAY eNews

抄訳: 永岡美咲 (日本YMCA同盟)

## YMCAグリーン・チャレンジ 2013

2013年10月18日～31日



YMCAグリーン・チャレンジは、アジア・太平洋地域のYMCAで環境保護の取り組みを通して環境への関心を高める目的で行われました。社会への責任を認識し、YMCAで環境に配慮した活動にかかわることができるよう、若者を動機づけるものとなりました。この取り組みを通して、YMC

Aについてよりよく理解し、地球規模の問題に関して行動をとるようになりました。私たちは、YMCAを取り巻く地球規模の問題に対処することができるか、YMCAがどうしたら「グリーンな組織」となれるか、考えています。

アジア・太平洋地域の約50のYMCAでは、ワークキャンプ、道路清掃、植林、啓発活動、カーボンゼロ(炭素ゼロ)の取り組み、展覧会、絵画コンテストなどが行われ、16,000人以上のユースが参加しました。(Roger Peiris)

### 各地のYMCAでの取り組み

#### インド・マドラスYMCAキルパウク(Kilpauk)ランチ



インド・マドラス(チェンナイ)YMCAのキルパウク・ランチとマドラス地区ワイズメンズクラブは、2013年10月25日、朝9時30分

から午後12時30分まで「気候変動の環境や天然資源に対する影響」と題したセミナー・スピーチコンテストを行いました。スピーチコンテストに出場した13人のうち、優勝者にはマドラスYMCAのS. Edwin Abraham 総主事より記念品が贈呈されました。(S. George Bernardhsa 主事)

#### インド・スルタン・バテリ(Sulthan Bathy)YMCA



スルタン・バテリYMCAでは、川の護岸プログラム(竹の植林)、田植え(農家の手伝い)、“changathapacha”(実のなる果物の交換)を行い、150人が

参加しました。(Sasrah Poulouse、Uni-Yメンバー)

#### スリランカ・マータラ(Matara)YMCA



10月27日、マータラYMCAではグリーン・チャレンジで海岸の清掃を行いました。ユースクラブが取り組みを行い、100人が一般参加しました。清掃の

意義について啓発活動をするなど、マータラ市役所が全面的に協力くださいました。(Lesley Sudirukku 総主事)

## リソース・モビリゼーション ワークショップ 2年目研修 Eloisa Borreo

2013年9月～10月にかけて、リソース・モビリゼーション(人的・財政的資源の調達)ワークショップの2年目研修がインド南西部のYMCAおよびフィリピンのYMCAで行われました。参加者は、どのように寄附の呼びかけをしたらよいか、また、どのように将来YMCAに寄附をくださりそうな方やボランティアを探したらよいか学びました。

フィリピンで行われた2年目研修のハイライトのひとつは、大口寄附をいただくための建築募金を打ち出すことです。アニュアル・キャンペーン(訳注:一般的には、毎年実施される、非営利組織の一般的な経費のための寄付キャンペーンを指す)と異なる考え方ではありませんが、建築募金は、寄附者の収入から寄附したいという気持ちにさせ、寄附額が増加するようになります。それぞれのYMCAで寄附額を決めることができます。この寄附は、特定のプログラムか建築募金、あるいは遺贈プログラムを支援するために用いられます。

建築募金を打ち出す以外にも、ボランティアのリクルートや各YMCAでのリーダーシップの組織づくり、キャンペーン・チームの構成を行うことで、募金キャンペーンを成功に導くことができます。有能なキャンペーン・ボランティアやキャンペーン・リーダーになるためには、個人の資質やスキルが必要であることを学びました。幅広い人脈やネットワークを持ち、素晴らしい貢献をする必要があるのです。研修の最後には、各ケース(訳注:募金を集めるためにYMCAから支援者に語られる実際のプログラムや事例)をどのように紹介し、実行するか、またボランティア対象の研修の持ち方を演習し、何を2年目のアニュアル・キャンペーンの目標とするか決定しました。

ボランティア・コンサルタントの Paul さん、受入YMCAの皆様にご感謝申し上げます。

## ニュージーランドYMCA新総主事就任

ニュージーランドYMCAは、新しい総主事(CEO)に David Gray 氏を任命しました。

Gray 氏は、これまで14年間、フリーランスの経営コンサルタントとして非営利団体にかかわってきました。ガバナンス、戦略、運営の変革、人事運営、財政に関するプロジェクトを率いてきました。すべてのプロジェクトにおいてすべて一貫してきたのは、組織のパフォーマンスを向上させることに焦点を絞ったことです。主に先住民マオリの組織に関してコンサルティングを行ってきました。

また、ASB 銀行での銀行業務や KPMG コンサルティングとの経営コンサルティングといったビジネスのフィールドで活躍してきました。さらに、ワイカト/タイヌイのマオリ集落の自治体で CEO を務めた経験もあります。マオリの開発と人事管理を専攻し、オークランド大学を卒業しました。

ニュージーランドYMCAの総主事になる直前には、数か月間ニュージーランドYMCAの組織改革に関する役割にかかわっていました。彼は、ニュージーランドYMCAと13の都市にあるYMCAの関係を見直し、再び活気づけるという信念を持ち、そのためには同盟組織を効果的にするためのまなざしが必要であると考えています。

仕事以外でも、コミュニティへの奉仕活動を行い、ソーシャル・サービスや地域経済の発展、教育などに関する多くの委員会組織での組織運営の役割を担っています。余暇の多くの時間を湿地の回復や、彼と妻が住む北ワイカトの小さな農場を再生することに費やしています。

ウェリントンにあるニュージーランドYMCA同盟と、オークランドYMCAでの働きを兼務する予定です。



## 私こそが「変革」となる—ユース・エンパワメント フィリピンYMCA同盟総主事 Pablito A. Tabucol

フィリピンYMCAの第2回ユース集会在「チェンジ・エージェント(変革の担い手)を通じたユース・エンパワメント」をテーマとし、2013年10月19日～21日、ラグナ州サン・パブロにて開催されました。フィリピン各地のYMCAや他の団体から合計120人の学生とアドバイザーが集いました。

このイベントは、サン・パブロYMCAとの共催で行われ、ユースがチェンジ・エージェントになれるようエンパワメントすることに焦点を当てています。若者が変革し、チェンジ・エージェントになれるような場をYMCAにつくり、平和構築やすべての人のための正義や関心事に求められるインパクトのある反応を起こすことを目的としています。この集会では、参加者はチェンジ・エージェントとしての役割について学び、自分たちの生活について話し合うことで彼ら自身を発見する機会となりました。それらを達成するために、プログラムには基調講演、学びのためのプレゼンテーション、分科会、ユース円卓会議、コミュニティー見学、コンテスト・プレゼンテーションなどさまざまな要素が盛り込まれました。

基調講演では、国会議員の Sol Aragones 氏から、「行動する前に考えよう」、「1人の責任のあるユースは、1000人の無関心な人々よりも偉大である」というメッセージで若いチェンジ・エージェントが励まされました。

分科会では「各地での平和構築」「生態系と環境への責任」「貧困と生活の持続可能性」「ジェンダーの感受性と移民」「文学、教育、組織」という5つのサブテーマについて話し合われました。上記の分野を専門とするリソース・スピーカーから話がありました。

この会のハイライトは、2013年のフィリピンYMCAユース委員の選挙と、YMCAチェンジ・エージェントとなることを目指したユース集会宣言の採択でした。

コミュニティー見学では、紛争下に置かれた子どもたち、ゴミの山で暮らす子どもたち、先住民、学校に通えない子どもたち、周縁化された女性たちといった、さまざまな人々とチェンジ・エージェントが交流する機会がありました。

APAYのチェンジ・エージェントの1人、Marvin Tapiadorが、プラハで行われたYMCAヨーロッパ・フェスティバルの経験を話し、チェンジ・エージェントの役割に関するプレゼンテーションを行いました。

最終日には、3つのHi-Y、4つのUni-Yも加わり、クリエイティブなプレゼンテーションのコンテストが行われました。フィリピンで最近起きた災害の説明を行ったイロコス・ノルテYMCAと、ゴミの山で暮らす人々の苦悩を描いたドキュメンタリーを製作したサン・パブロ Uni-Y が優勝しました。

このプログラムは、教育省と高等教育委員会からの後援をいただいています。



発行元

アジア・太平洋YMCA同盟

Asia and Pacific Alliance of YMCAs

23 Waterloo Road, 6th floor, Kowloon, Hong Kong

tel. 852-2780 8347, 2770 3168, 2783 3058; fax 852- 2385 4692

e-mail: office@asiapacificymca.org